

| 令和元年度 第3回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会 会議録 | |
|----------------------------------|--|
| 日 時 | 令和元年 11 月 21 日 (水) 15:20～ |
| 開催場所 | よこはま動物園ズーラシア 特別会議室 |
| 出席者 | (委員) 小宮輝之委員長、浅井紀代子委員、齋藤毅憲委員、佐渡友陽一委員、間曾さちこ委員 |
| 開催形態 | 非公開 |
| 議題 | 1 令和元年度第2回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録の確認 2 平成30年度指定管理者事業評価報告書案の確認 3 令和元年度上半期モニタリング実施報告 4 その他 |
| 決定事項 | ・令和元年度第2回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録の確定 |
| 議 事 | <p>1 令和元年度第2回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異議なし <p>2 平成30年度指定管理者事業評価報告書の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人材育成の取組」について、指定管理者としての自らの評価ができていないように見受けられるため、「体系的な研修計画を策定・実施」に「評価」を付け加えたほうが良い。 ・改めて見ると「環境教育に対する取組」は、3つの目標（入園者数、国際的な繁殖計画への参画・連携、環境学習）の一つの割には少しボリュームが少ない。次年度以降の課題だが、もう少し踏み込んで記載できるように事業の実施も含めて変化があると良い。 ・日本の動物園・水族館全体として、教育部門に関しては昔より取組のレベルが上がってきていることを感じている。横浜市では、一つ一つの取組としては質が上がっていても、3園全体で考えた時、どのように環境学習を盛り上げていき、表現していくかという点はまだチャレンジされていない課題だと感じている。 ・次年度以降は、3つの目標の記載内容について、ボリュームのバランスが整うと良い。 ・今回は3年目の事業評価なので、これから10年目に向けて教育分野についてしっかり書けるようになっていけば良い。 ・「事業効果を高める取組」の「本部」のリーダーシップという記載について、「本部」という言葉は、現場の人ではなくてトップのリーダーシップという意味で間違いないか。上の人が方向性を決めないといけないと思うが、「本部」とすると少し抽象的なので、「協会トップ」などと記載したほうが良い。 ・「経営的な」というように明確に入れることもできるが、組織体系を知らない人からも分かりやすいように、「協会の首脳陣」や「指定管理者経営陣」などとしたほうが良い。 |

3 令和元年度上半期モニタリング実施報告

・学校給食の献立表に動物園の案内を掲載したとの説明があったが、これは横浜市内に限定されるのか。

→はい。

・市外に展開する予定はあるのか。

→現段階では考えていないが、近隣他都市の動きも気にかけていきたい。

・入園者数について、昨年度は減ったが今年度はどうだったか。

→台風シーズン前までは昨年度を上回る回復傾向であったが、10月に台風があり特に落ち込んでいる。昨年10月は、天候に恵まれ非常に来園者が多かったこともあり、トータルでは昨年を下回る状況だ。

・天候が優れなくても楽しめることに、どのくらい力を入れているか、また、何か対応を考えているのか。

→できるところから色々な工夫を始めているが、屋外施設のため根本的には厳しい。通常の雨の日、冬や平日など普段お客様が少ない日に、お客様を呼び込む取組が必要だと思っている。

・他都市の園で、入り口のすぐ近くに大きな屋根があり、モルモットを触ったりできるスペースを作ったところがある。また、リニューアル時に屋根付きの休憩所を増やしたところもある。これは、雨でもお弁当を食べる場所を確保する目的で作ったようだが、実際に効果があったか調べてみると興味深いと思う。

→金沢動物園は、ののほな館でお弁当を食べたり、実際にその場所へ動物を連れてきて学校のプログラムを実施したりすることが可能である。そのため、雨の日でも遠足を実施することができる。

・ゾーラシアはどのような状況か。

→ゾーラシアは来園する団体数も多く、お弁当を食べる施設の確保が厳しい。また、一般のお客様もいるため貸切りにすることも難しい。金沢動物園の、ののほな館の会議室は一般の当日利用はないので、貸切りにできる。

・維持管理部門について、台風で倒れた木の処理はどうだったか。

→台風の前に大雨が降り、がけ崩れが発生し、その後発生した台風により金沢動物園で根こそぎ木が倒れるなど大きな被害があった。3園とも台風15号が過ぎた次の日は倒木の処理を行うため閉園したが、横浜市内全域で被害が大きかったため、処理する造園業者の手配に関して、指定管理者が一番苦労していたようだ。その教訓も踏まえ、台風19号については、事前に閉園を決めて対応した。

・指定管理者自身では、営繕業務を実施しないのか。
→木をクレーンで吊るとか擁壁を積むという作業は行っていないため、別途依頼している。

・何日間くらい休園したか。
→15・19号あわせると、もともとの休園日に加えて金沢動物園は4日間、ズーラシアは2日間休園した。
→市全体としても台風15号の時は優先順位が明確にできなかったため、台風19号の時は計画的に備えた。優先順位が高いと判断した公園は集中的に復旧対応を行い撤去も行った。そのほかの公園緑地については、まずは使えるようにし、撤去物を公園内に集積しておき、片付けは順次行うことにした。動物園では、お客様が入るエリアは早く、そのほかは順次というように時間差で対策を考えた。業者さんの手も限りがあることから、事前にそのように調整をしたうえで復旧対応を実施した。

・経営的な視点からいえば、何日間休園したということだけではなく、そのためにどのくらいコストがかかったか、また本来入るべき収入がどのくらい入らなかったかという計算が必要であり、指定管理者に認識してほしい。ただし、それは現場の人ではなく経営陣に求めたい。

・飼育部門のモニタリングに記載がある、オオカンガルーの飼育頭数について「最大頭数」と「適正頭数」と言葉があるが、どのような違いか。
→最大頭数については検討したという回答だったので、適正頭数はどのくらいかと聞くと、すぐには回答できない状況であった。

・現場にその回答を求めるのは、難しいと思う。動物園は、動物の子がいることが一つの人気になるので、現場を締めるということだけではなく他園の動物などと交換することなども検討してはどうか。また、このような話は、現場の人ではなく、上からしっかり言わないといけないと思う。

・オオカンガルー1頭あたりの必要面積は決まっているか。
→はっきりと示されているものはない。金沢動物園の強みは日本全国のオオカンガルーに関する飼育データを持っていることであるため、それを元に考えてほしいと思う。

・3園の協力という意味では、金沢が老齢オカピを飼育する件と逆で、広いズーラシアでオオカンガルーの群れを飼うなど考えられないか。広い場所で広々と群れで飼うことも良いと思う。
→ズーラシアでは別種を飼育している。繁殖を止めるということではないが、コントロールはしてほしいと思う。

| | |
|------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ラクダライドの事故とはどのような内容か。 →職員が、ラクダにけられてしまった。休園日で、たまたま職員が一人でいた時だった。 ・動物はしっかり職員を見ているため、ゾウも含め絶対二人でやらなくてはいけない。自分は一人でもできると思ってしまってやってはいけないことをやって、やられるという事が多い。ゾウもラクダも危ない。 ・モニタリングの後になるが、ラクダが頭を振りお客様の眼鏡に当たり、眼鏡が破損し、お客様が病院に行ったことがあった。 →担当者や個体を替えることも考えたほうが良い。折角楽しんできているお客様に不快な思いが残ってしまうのは残念であり、また個体もクセがつくと何回もやるので気を付けたほうが良い。 ・教育普及について、飼育部門にも教育普及業務があり管理部門にもボランティアのことが書かれているが、連携が図れているのか。また、ボランティアの組織的な成長などにつながれば非常に素晴らしいと思うが両部門が連携する仕組みづくりなどは、どのようになっているのか。 →ボランティアは園内のガイドを行っており、ガイドをするにあたっては飼育担当の職員がレクチャーをしている。 →金沢動物園は他の園と異なり、教育普及担当が飼育部門の中にあるため連携が効果的に図れている。ズーラシアにおいても、両部門が連携しているが、組織が大きいため金沢とは少し異なる。 ・現在のボランティアは体系的ではなく、プログラムの中で実施しているように感じる。もっと体系的に行っていないと全体像が見えなくなると懸念される。 ・3園全てが同じである必要はないが、ボランティアを教育の対象者としてきちんと位置付けて戦略としてうまく回っているのであれば良い。その戦略は、各園によって異なっても良いので、しっかりと戦力になるようボランティアが逃げて行かないようにこれから考えてほしい。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ズーラシア 20 周年記念誌は何部作成したのか。 →3,000 部作成し、関係者のほか学校や図書館、地区センターなど市民の方が閲覧できる場所に置いている。 |
| 配布資料 | 資料 1 令和元年度第 2 回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録案 資料 2 平成 30 年度指定管理者事業評価報告書案 資料 3 令和元年度上半期モニタリング実施報告 |